

大会レポート
○白石島 2005
2005年12月17-19日

風雲！奇跡の白石島！

木村佳司

「なにっ！欠航？」
衝撃の第一報から始まった、
全日本リレーを含む一連の
イベント。終わってみればそ
れも思い出となる。

晴れの国おかやま・白石島 3日間
2005年12月17日(土) - 19日(月)
岡山県笠岡市白石島

瀬戸内海アドベンチャー

12月としては異例の強い寒気団が日本列島を覆う。日本海側は大雪、海はシケ。白石島へやってくるはずの連絡船や臨時船が次々と欠航になる。数十年島に住んでいる人も「12月にこんなに海が荒れるのは初めて」と驚きを隠せない。例年12月の白石島はまだ暖かく天気も安定している。開催日の決定も過去のこうしたデータに基づくもの。

波に弱いタイプの連絡船は欠航になったが、それでも運行できる船で本土から参加者が続々と集まってくれた。風の瀬戸内を想像してきてくれた参加者は、思わぬアドベンチャーライドの洗礼を受けることになった。

土曜日のトレイル0ではフラッグが風で飛ばハブニングも。



次々と欠航の連絡。状況を見守る役員

日本各地の高速道路も麻痺し始めている状況。土曜日に秋吉台で行われる予定だった山口大学大会も大雪で中止された。四国でも雪。寒気団が支配する日本列島の中で雪の影響を受けずに全日本リレーが開催できたのは、瀬戸内海の奇跡というほかない。



スタートは港から。島で行われている行事であることを印象づけるシーン。マスコミ・メディアを通じて白石島とオリエンテーリングを発信する。

オリエンテーリング島

白石島ほどオリエンテーリングに理解のある場所はない。それは過去24年毎年春に笠岡市大会を開催してきたことが大きい。島には歴史のあるパーマネントコースも設置されており、整備状況も良い。島の中でオリエンテーリングを知らない者はいない。

さらに島全体には八十八箇所のミニお遍路の石仏が設置され、白石島全体で管理、整備されている。島外からもお遍路巡りが時々訪れている。石仏は究極のパーマネントコースとも言える。

このように元々オリエンテーリングを受け入れる素地が白石島にはある。そんな中、今回の全日本リレーに向けて職人・山川氏の手によって白石島全体が正確に地図化された。

コーステーマは「海物語」

特徴物に富む白石島でのリレーコース設定は楽しいものだった。島を堪能してもらおう・・・コーステーマは「海物語」。砂浜を走るレグを中心に、海を見渡せるレグ、さらには港のド真ん中に設置した中間コントロール。そして全日本リレーらしく難しさと厳しさを織り込んだコース。参加者は楽しんでくれたらうか。

お遍路スコア意外に盛況

参加者の帰り足の分散を狙って企画したのが月曜日のお遍路スコア0。全島地図の完成披露の意味もあった。この企画、お遍路という地元では親しみやすいネタのせいか意外に地元参加者が集まってくださった。

世界選手権日本代表の元木友子が女子1位になったのだが、それに続いて2位は、地元の74歳の女性で八十八箇所の整備をやっているという。74歳とは思えない元気ぶり。すごい。

4月23日にも白石島で

白石島全島地図を使った大会がこの春も開催される。お遍路スコアクラスも再現する計画だ。これからも進む白石島オリエンテーリングにとって、全日本リレーはひとつの節目となった。



2位表彰される、地元白石島の天野富佐子 (木村佳司)